

新人アナウンサー、 今日からラジオニュースに！



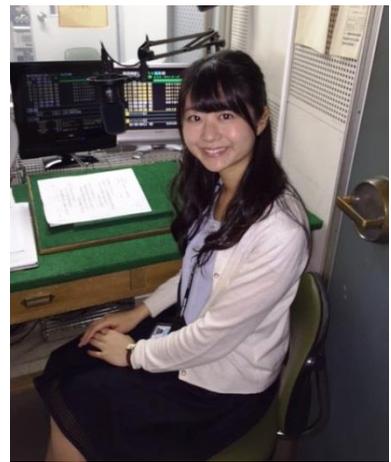
初めてニュースを読む
川又アナウンサー



川又智菜美アナウンサー



平野佑芽アナウンサー



廣瀬麗奈アナウンサー

「初鳴き(はつなき)」という言葉が聞かれたことあるだろうか？アナウンサーが放送で初めて読むことを放送局では「初鳴き」と言う。初めて自分が責任をもって伝える場を与えられるということでもある。アナウンサーならだれでも通る道。今年の新人たちも今日、その日を迎えた。

トップバッターは川又智菜美(かわまた・ちなみ)アナウンサー。2016年6月6日11時RSKラジオニュースで初鳴き。生まれて初めて自分の声でニュースを届けた後の川又アナウンサーは、「手が霜焼けみたい・・・」とその緊張具合を話した。石田アナウンス部長は「下読みの時にアドバイスしたことがほぼ落とし込めていた。良かったよ。」と声をかけていた。明日からも平野佑芽(ひらの・ゆうが)アナウンサー、廣瀬麗奈(ひろせ・れいな)アナウンサーと「初鳴き」は続く。

ラジオ・テレビの兼営局であるRSKでは多くの先輩アナウンサーからもラジオでの初鳴きからスタートし、司会・パーソナリティ・実況アナウンサー・ニュースキャスターと活躍の場を広げていった。4月の入社以来2か月間、先輩の熱い指導の下、発声練習やニュース読みなどのトレーニングを積み重ねてきた。視聴者やリスナーから愛されるアナウンサーとなるにはまだまだ程遠い新人アナウンサー3人がこれから頑張ります。よろしくお願います～す！（と語尾を伸ばすと叱られます。）